



【第154号】

昭和45年8月15日発行

非 売 品

発行所 国見町公民館

発行人 佐藤 善次郎

編集人 佐野 貞 浩

印刷所 国見印刷所

（町の人口）

昭和45年8月1日現在

世帯数	2,572戸
男	5,802人
女	6,278人
人口計	12,080人

都市計画法による

開発許可制度がスタート

福島県では、このほど将来の住みよい街づくりを計画的に進めるため、左表の市町村の都市計画区域のなかに「市街化区域」と「市街化調整区域」の二つに区分して指定しました。

○市街化区域……宅地を造成したり、建築物の建築をしてもよい区域

○市街化調整区域……宅地を造成したり、建築物の建築を禁止する区域

あなたの土地がどちらの区域にあるのか役場又は県建設事務所でたしかめてください。

この区域に土地を持っている方で、これから宅地造成や建築物を建築しようとする方は、次の例外を除いて知事の許可を受けなければなりません。

○〇〇㎡（約三〇〇坪）未満の場合  
 1 この届出は、忘れず早めに（六ヶ月過ぎると受付されません）してください。  
 2 この届出をしても、開発許可、建築許可は別に受けなければならない。  
 3 届出しようとする土地が農地の場合、農地転用許可書、その他の農地転用許可書を届出書に添付しなければなりません。  
 4 届出の手続きは、役場又は県建設事務所でおたずねください。

○国見町農業のあり方として  
 第一に全耕地の土地基盤整備の早期完成である。高度経済成長と云う現実の輝い基盤の上に立つて農業面に必然的に要求されるものは、農業の近代化、企業化であり、労働生産性の向上である。これだけは何か何んでも実現しなければならぬ課題である。

○国見町農業のあり方として  
 第一に全耕地の土地基盤整備の早期完成である。高度経済成長と云う現実の輝い基盤の上に立つて農業面に必然的に要求されるものは、農業の近代化、企業化であり、労働生産性の向上である。これだけは何か何んでも実現しなければならぬ課題である。

手間は年々々々上昇し、五年後には一日五千円と云う事もあり得る。一日五千円の手間で一俵八千円の米を売っていただければ、こんな事からも既に近代化を迫られている。これ等のことは将来共に変らない事である。早ければ早い程、農業をやるために今や政府も第二次農業構造改善事業実施の名のもとに本格的な近代化を進めようとしております。時期到来の感があります。若い農業者を育成し、農業永遠の発展のために、農業一九九と云う利害を打ち捨てて、早く、然も積極的の土地基盤整備事業を推進される事が賢明な策である。これ等構想実現のため町として大綱を作成し速やかに農民に知らせるべきです。○農協の体質改善についての希望意見

農協は営農管理態勢の確立を

川内 鈴木 伴治  
 一九七〇年代は国家経済の繁栄と幸福が一体になれる年代であると思つていたのに、農業問題だけはどうにもならない。先づ米の問題であるが、今や過剰生産となり休耕作付転換による生産制限をしなければならぬ。誰しもが、驚かざるを得ない。誰しもが、このよきな事態を容易に予測し得なかつたのである。このよきな現実の上に立つてどう考え、将来何をなすかという

国見町農業への提言

事を鮮明、的確に捉えようとすると、言と事になってきたものがある。この厳しき現実に対応するには、次の様に提言したい。

一、或一定の枠の中で進められる農政活動に受け身で協同調する事は望ましい事ではないが、止むを得ない。但し、肯定が直ちに従属を意味するようであってはならない。

二、我々は我々の力で現実の生活を守るため真剣に努力

大規模経営の確立

森山 六戸 惣兵衛  
 一九七〇年になって米の生産調整策が打ち出され、大きな転期を迎えた。このような転期にあたり一言申し述べてみたい。

○、集団化された省力による大規模経営の確立、それは工場誘致による兼業農家の離農促進

○、企業の経営管理能力を持った後継者の育成

○、町と農協がタイアップして作付計画から販売に至るまでの計画の調整指導は出来ないものか。

以上を軸点から次の点について夢を描く。

農業後継者の育成

佐藤 幸一  
 一、協業養蚕の推進、桑園団地の造成（泉田方面の水田は桑園にする。）

心をあわせて  
 明るい社会を  
 第20回社会を明るくする運動  
 社会連帯で青少年の非行を防止  
 犯罪や非行のない  
 明るい町をつくりましょう  
 つくりましょう  
 よい環境を  
 愛の手を  
 青少年の非行は  
 人ごとではない  
 「私の家には関係のないことだ」  
 「私の子どもだけは心配ない」  
 このような声がよく聞かれます。しかし非行少年をもつた殆どの親も自分の子どものように信じていたのです。

このような問題が青少年を非行に走らせている

- 親子の話し合い時間が少なく、子どもをなげやりしている。
- 離職や転職を繰り返すことが、非行の第一歩。
- 健全な刺激のない環境の増加。
- それからも……
- 子どもを水の事故、交通事故から守りましょう。

国見町・国見町保護司会

お悔み申し上げます  
 （七月中に亡くなられた方 敬称略す）

死亡日	7	6	5	3	2	1
氏名	実 氏	赤坂 慶吉	蓬田 兵七	波野 マコト	佐藤 ナカミ	高橋 ナカミ
年齢	78	73	73	70	65	65
住所	徳江 久保田6	西脇43	泉内 普蔵40	徳江 団扇3	徳江 団扇3	徳江 団扇3
住所	石母田 中山山下1の3	藤田 中沢11	藤田 日渡四、1			

県北都市計画区域	福島市 桑折町 保原町
県中都市計画区域	伊達町 国見町 梁川町
会津都市計画区域	河東村 湯川町
いわき市	郡山 須賀 鏡石
いわき市	いわき市

市街化区域……敷地面が一

○市街化区域……宅地を造成したり、建築物の建築をしてもよい区域

○市街化調整区域……宅地を造成したり、建築物の建築を禁止する区域

あなたの土地がどちらの区域にあるのか役場又は県建設事務所でたしかめてください。

この区域に土地を持っている方で、これから宅地造成や建築物を建築しようとする方は、次の例外を除いて知事の許可を受けなければなりません。

○〇〇㎡（約三〇〇坪）未満の場合  
 1 この届出は、忘れず早めに（六ヶ月過ぎると受付されません）してください。  
 2 この届出をしても、開発許可、建築許可は別に受けなければならない。  
 3 届出しようとする土地が農地の場合、農地転用許可書、その他の農地転用許可書を届出書に添付しなければなりません。  
 4 届出の手続きは、役場又は県建設事務所でおたずねください。

○国見町農業のあり方として  
 第一に全耕地の土地基盤整備の早期完成である。高度経済成長と云う現実の輝い基盤の上に立つて農業面に必然的に要求されるものは、農業の近代化、企業化であり、労働生産性の向上である。これだけは何か何んでも実現しなければならぬ課題である。

手間は年々々々上昇し、五年後には一日五千円と云う事もあり得る。一日五千円の手間で一俵八千円の米を売っていただければ、こんな事からも既に近代化を迫られている。これ等のことは将来共に変らない事である。早ければ早い程、農業をやるために今や政府も第二次農業構造改善事業実施の名のもとに本格的な近代化を進めようとしております。時期到来の感があります。若い農業者を育成し、農業永遠の発展のために、農業一九九と云う利害を打ち捨てて、早く、然も積極的の土地基盤整備事業を推進される事が賢明な策である。これ等構想実現のため町として大綱を作成し速やかに農民に知らせるべきです。○農協の体質改善についての希望意見

「道路をまわる月間」  
 交通の著しい発展によって道路の環境整備には大きな関心寄せられております。今年も例年のとおり八月に「道路をまわる月間」運動を行なうことになりました。

道路の美しい使い、安全に使う、広く、美しく、安心して使うようにお互いに努力いたしましょう。

道路を正しく使うために、路上駐車、商品の陳列、作業場などに使わない。交通に危険のある障害物を取り除きましょう。

3 道路に土砂、ゴミなどを捨てない。

こんなことに、みんなで心がけましょう。

道路愛護作業を行ないます。部単位に年二回程度、県道、町道の草刈り、側溝、路肩、路面の整備に奉仕作業をおねがいします。（建設課）

お悔み申し上げます  
 （七月中に亡くなられた方 敬称略す）

死亡日	7	6	5	3	2	1
氏名	実 氏	赤坂 慶吉	蓬田 兵七	波野 マコト	佐藤 ナカミ	高橋 ナカミ
年齢	78	73	73	70	65	65
住所	徳江 久保田6	西脇43	泉内 普蔵40	徳江 団扇3	徳江 団扇3	徳江 団扇3
住所	石母田 中山山下1の3	藤田 中沢11	藤田 日渡四、1			

笑顔でとおれる きれいな道路

明治学級だより

老人の健康管理

水の事故・交通事故を防ぎましょう

昨年五月新しい病院で、本宿院長先生から、老人の健康問題についてご指導をいただいたから、今年七月三十日福祉センターでその第二回目を開いた。今回は、ふるに入るときのお心得とか旅行の注意事項と老人としてのマナーなども身近なことについてわかりやすく話された。



(1)老人がむねれない原因は、足の運動不足と高血圧の症状  
(2)早起き禁物  
(3)早起き禁物  
(4)ふるに入るときは家人に告げる  
(5)飛行機にのるときは小

あつかい俳句会(七月十八日) 兼題「短夜」「汗」 早田 灰鳥、山田 甲二、齋藤 鶴松、藤原 隆、杉山 隆一、奥田 多佳子、高橋 一、正 雄、山田 正二、藤原 正、勝 泉、夢 月、藤 水、高橋 山、雨 田、藤 山、藤 山、藤 山、藤 山

中央婦人学級

見るスポーツより 行うスポーツを

八月三日(月)午後一時半から小阪小学校長丹治和一小生から「現代生活と健康」という問題についておもしろいお話をききました。ゲームやうたごえをまじえたが、身近な例をよく話されたのでみんな大よろこびで話を聞いておもしろいお話をききました。

(1)ふるに入るときのお心得  
(2)あまり熱くないお湯(四〇度〜四一度)ゆっくり(二十分位)入る。  
(3)あたたかいところで着物を脱ぎ換える。

他の工業国のごときよりも深いギヤップをおおえる。自然の風景を食べつゝ、空を眺めさせ、咳を出させたり、涙腺をしげきしたり、夜はモーターの騒音に満たされる。そんな技術は進歩的な技術ではない。



幸福の指標

「日本人は今や零落への道を歩んでいて。混乱と人間性喪失への、気がいかげんした競争の先頭を切って、騒々しくみにくいオートメ化されたロボットへの道を歩いている。日本国内を旅行して、私は、

あつかい俳句会(七月十八日)

兼題「短夜」「汗」 早田 灰鳥、山田 甲二、齋藤 鶴松、藤原 隆、杉山 隆一、奥田 多佳子、高橋 一、正 雄、山田 正二、藤原 正、勝 泉、夢 月、藤 水、高橋 山、雨 田、藤 山、藤 山、藤 山、藤 山

農村青年技術交換大会の記

七月二十九日から三日間、警備隊吾妻スカイライン兜平キャンプ場に東北地方の各農業者改良普及所管内から三〇〇名が町からは六名参加し、吾妻小富士の前にテントを張り、午後一時開会式、福島大学の田口先生の講話があり、いざさらながら農業者のきびしさ、農村青年のあり方を考えさせられました。

一日監視の目は光る

八月六日、町内食品店の衛生管理状況監視のため、保健所、国民町商工会、保原地区衛生協会共催の「一日食品衛生監視」が行われた。監視員に選ばれたのは婦人会員八名、女子中学生四名、それに保健所員、業者の衛生監視員等総勢三十五名を二班に分けて、町内の魚店、肉店、菓子店、青果物店、食堂、スーパーマーケット等に巡回し、食品業者として義務づけられている環境衛生等諸項目について見たままに監視の目を光らし、特につまみ食い、手洗いは大人の見まなび、こまめに実施された。

おめでとーございませう

Table with columns for birth date (出生日), name (氏名), and address (親の名と続柄 住所). Birth dates range from 20 to 24.

健康づくり講演会(予告)

健康づくり講演会(予告) 日本人は今、健康喪失という重大な危機に直面しているといわれています。この道の権威者、牛尾盛保先生をお招きし、このばねの杖にしたいと思います。

次回社会見学

三ラインの旅 九月三日午前七時出発前を出発、米沢からスカイパレード、ゴールド、吾妻スカリーの三ラインを通り、天元台国立整備青年の家などを見学する。 会費 一、三〇〇円 申込み八月二十日まで